

平成29年度 **あきたスマートカレッジ** (報告)  
あきた教養講座

**L1～12：歴史リレー講座～秋田の通史～**

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂ほか

**【L4】秋田城跡歴史資料館**

【趣旨】人気が高い歴史講座を、年間を通じて開講します。また、移動学習や特別企画も盛り込みました。縄文・弥生時代から近代にいたるまでの秋田の通史を、6人の講師がリレー形式でたどります。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
L1	5月20日 (土)	縄文編 縄文から始まる櫛の話 ～戸平川遺跡とグリム童話～	日本考古学協会 会員 小 林 克 氏	68
L2	6月3日 (土)	弥生・古墳編 なぜ古墳時代に古墳はないか？ ～寒川遺跡と「はらこ井」文化～	北東北古代集落遺跡研究会 代表 船 木 義 勝 氏	80
L3 + L4	6月17日 (土)	古代編① 古代秋田城の水洗トイレの 建築年代と渤海史 【移動学習】秋田城跡歴史資料館見学	秋田城跡歴史資料館解説員 秋田城跡ボランティアガイド のみなさん	58 60
L5	8月19日 (土)	古代編② 10世紀の人口動態と北奥社会 ～巨大火山噴火と気候変動の可能性～	北東北古代集落遺跡研究会 代表 船 木 義 勝 氏	72
L6	9月23日 (土・祝)	中世編① 中世の幕開けと展開 ～鎌倉・室町時代を中心に～	羽後町立羽後中学校 教諭 佐 藤 一 幸 氏	90
L7	10月14日 (土)	中世編② 中世から近世へ ～戦国期を中心に～	秋田大学教育文化学部 教授 渡 辺 英 夫 氏	78
L8	11月18日 (土)	近世編① 佐竹氏の家督継承 ～分家大名と苗字衆を交えて～	秋田県埋蔵文化財センター 主任学芸主事(兼)班長 五十嵐 一 治 氏	97
L9	12月9日 (土)	近世編② 秋田藩の産業 ～酒造業を中心に～	秋田県立博物館 学芸主事 畑 中 康 博 氏	88
L10	1月20日 (土)	【特別企画】久保田城下町の歴史 ～発掘で明らかになったまちづくり～	秋田県立博物館 学芸主事 畑 中 康 博 氏	91
L11	2月10日 (土)	近代・現代編① 秋田藩から秋田県へ	秋田県立博物館 学芸主事 畑 中 康 博 氏	103
L12	3月3日 (土)	近代・現代編② 20世紀の秋田	秋田県立博物館 学芸主事 畑 中 康 博 氏	88
合計				973名

ここでは、L3+L4・古代編①の講座について報告します。この講座は、1日でどちらも受講できるようにしました。また、秋田市教育委員会の全面的な協力を得て、移動のバ

スや秋田城跡歴史資料館見学等にご配慮いただきました。

講師の船木先生は午前と午後の2回にわたり「古代秋田城の水洗トイレの建築年代と渤海使」と題し、秋田城外郭・政庁Ⅲ期と水洗トイレ造営の観点から、水洗トイレ遺構内出土土器の出土層位と土器年代、木樋の年輪年代学的解析による年輪年代、文献史学の最新の研究成果による暦年代などの複眼的視点から、水洗トイレ建築年代と渤海使来着に関する構造の提示をして



いただきました。水洗トイレ建築暦年代を①考古学年代、②年輪年代、③暦年代という一見して立場や方法を異にする複数の研究分野から、それぞれ共通性・普遍性をもった統一的な見解と判断できる「延暦23年(804)」と提示されました。水洗トイレの使用者がはたして誰であったのかを新野直吉氏、鈴木靖民氏、今井晃樹氏の見解をご紹介いただきました。

一方の班が座学をしている間、もう片方の班は移動学習です。生涯学習センターを発着場所として、秋田市教育委員会のバスを利用し、秋田城跡歴史資料館の中を解説員の方から詳しく説明していただきました。その後、高清水公園内を秋田城跡ボランティアガイドの方々から説明を受け、時間をかけてガイドをしていただきました。史跡公園では復元建物や古代沼、井戸、そして古代水洗トイレを実際に見ることができ、船木先生の講座内容を深めることができました。

ここ数年、歴史講座では移動学習がなかったのですが、このような形態も学びを深めることと、ボランティアガイドの活躍の場を見ることができるようになりました。



L4 秋田城跡歴史資料館・高清水公園見学